

## バルトークの作品

### ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番

早い段階から民謡を西洋音楽に取り入れたバルトークは、40 歳をむかえた 1921 年頃を境に、それらの素材に内在する音楽語法と西洋音楽の語法の融合を目指す、より抽象的で現代的な作風へと足を踏み入れた。ヴァイオリン・ソナタ第 2 番(1922)もそうした作品の一つ。ヴァイオリンの技法が尽くされた、詩情をともなうラプソディ風の第 1 楽章と、めまぐるしく曲想を変える舞曲風の第 2 楽章からなるが、2 つの楽章はアタッカで切れ目なく演奏され、第 2 楽章では第 1 楽章と共通の素材を用いることで全体の統一が図られている。

### 2 つのヴァイオリンのための 44 の二重奏曲

《2 つのヴァイオリンのための 44 の二重奏曲》(1931)は、ピアノ曲集《ミクロコスモス》のヴァイオリン版といった内容。ドイツの教育者ドーフラインの依頼により教育的意義を念頭に書かれており、各曲に表題が付けられている。民俗音楽の色が濃く、ほとんどの曲が東欧諸国で採取された民謡旋律をもとにしている。曲順に従って難度も高くなっていくが、演奏会で弾く場合、曲順にはこだわらないとの作曲家の注意書きがある。(本日の曲順は下記参照\*)

### 2 台のピアノと打楽器のためのソナタ

バルトークの最も充実した時期である 1937 年(56 歳)に作曲。9 種類もの打楽器とピアノ 2 台という特異な編成で、バルトーク作品のなかでもとくに打楽器の比重が大きい。12 分を超える長大な第 1 楽章は、ゆるやかな序奏にソナタ形式のアレグロ・モルトが続く。細かくリズムを刻む第 1 主題に対し、滑らかな躍動感のある第 2 主題が用いられ、再現部では第 2 主題の変形によるフーガが現れる。第 2 楽章は三部形式。打楽器の弱奏による導入から、幻想的なピアノの旋律が展開していく。中間部の 5 連符のリズムが印象的。第 3 楽章は、 Rond 風の性格を持つソナタ形式。明るく活力に満ちた曲想に戻り、随所で小さなカノンを繰り返す。最後は興奮を和らげるように小太鼓の最弱音で消えていく。

**\*2つのヴァイオリンのための44の二重奏曲**(本日の演奏曲順)

- 第1曲 からかいの歌 I. Párosító
- 第6曲 ハンガリーの歌 VI. Magyar Nóta [1]
- 第21曲 新年のあいさつ XXI. Újévköszöntő [1]
- 第34曲 かぞえ歌 XXXIV. Számláló Nóta
- 第7曲 フラキアの歌 VII. Oláh Nóta
- 第13曲 婚礼の歌 XIII. Lakodalmas
- 第23曲 花婿の別れ XXIII. Mennyasszonybúcsútató
- 第32曲 マーラマロシュの踊り XXXII. Máramarosi Tánc
- 第8曲 スロヴァキアの歌 VIII. Tót Nóta [2]
- 第10曲 ルーシの歌 X. Rutén Nóta
- 第11曲 ゆりかごの歌 XI. Gyermekrengetéskor
- 第33曲 収穫の歌 XXXIII. Ara táskor
- 第19曲 おとぎ話 XIX. Mese
- 第4曲 真夏の夜の歌 IV. Szentivánéji
- 第26曲 からかいの歌 XXVI. "Ugyan Édes Komámasszony..."
- 第14曲 枕の踊り XIV. Párnás Tánc
- 第3曲 メヌエット III. Menuetto
- 第24曲 面白い歌 XXIV. Tréfás Nóta
- 第2曲 五月柱の踊り II. Kalamajkó
- 第36曲 バグパイプ XXXVI. Szól a Duda
- 第17曲 ハンガリーの行進曲 XVII. Menetelő Nóta [1]
- 第18曲 ハンガリーの行進曲 XVIII. Menetelő Nóta [2]
- 第12曲 干し草の歌 XII. Szénagyűjtéskor
- 第20曲 リズム歌 XX. Dal
- 第25曲 ハンガリーの歌 XXV. Magyar Nóta [2]
- 第35曲 ルーシのコロメイカ XXXV. Rutén Kolomejka
- 第27曲 びっこひきの踊り XXVII. Sánta-Tánc
- 第5曲 スロヴァキアの歌 V. Tót Nóta [1]
- 第43曲 ピッツィカート XXXXIII. Pizzicato
- 第29曲 新年のあいさつ XXIX. Újévköszöntő [2]
- 第30曲 新年のあいさつ XXX. Újévköszöntő [3]
- 第31曲 新年のあいさつ XXXI. Újévköszöntő [4]
- 第9曲 遊び歌 IX. Játék
- 第36曲 bis. 36番の変形 XXXVIbis. Sz.Változata A36

- 第 15 曲 兵士たちの歌 XV. Katonanóta
- 第 37 曲 プレリユードとカノン XXXVII. Preludium és Kanon
- 第 41 曲 スケルツォ XXXXI. Scherzo
- 第 22 曲 蚊の踊り XXII. Szunyogtánc
- 第 42 曲 アラビアの踊り XXXXII. Arab Dal
- 第 40 曲 ワラキアの踊り XXXX. Oláh Tánc
- 第 16 曲 ブルレスク XVI. Burleszk
- 第 39 曲 セルビアの踊り XXXIX. Szerb Tánc
- 第 28 曲 悲しみ XXVIII. Bánkódás
- 第 38 曲 ルーマニアの旋舞 XXXVIII. Forгатós
- 第 44 曲 トランシルヴァニアの踊り XXXXIV. "Erdélyi" Tánc